

臨床研究の実施に関する情報公開

静岡県立こども病院では、2025年3月25日付けで倫理委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施します。関係各位の御理解と御協力をお願い申し上げます。

研究の拒否	患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために試料・情報が使用・提供されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。
研究課題名	乳児期頭部外傷によって生じる頭蓋内出血の予後に影響する因子の検討
研究機関名	静岡県立こども病院
研究責任者	脳神経外科 石崎 竜司
研究期間	2025年 2月 ～ 2028年 3月
対象者	2015年4月より2028年までの13年間に当院でASDH(急性硬膜下血腫)、AEDH(急性硬膜外血腫)、CSDH(慢性硬膜下血腫)+SAH(くも膜下出血)と診断された患者さんを対象にしています。
当該研究の意義・目的	乳児期には特有の受傷機転や成長過程における身体や骨構造の特徴があり、他年代における頭蓋骨損傷や頭蓋内出血とは異なった経過を辿る症例もあります。そのため手術加療の適応や治療方針についても成人とは異なる観点からの検討も必要となります。一般に機能予後は良好であることが多いとされていますが、画像所見や受傷機転だけでは予測しがたい臨床経過・転帰を示す症例もあります。当院は乳児期の重症頭部外傷を診療する機会も多いため、患者さんの診療録から検討を行い予後不良例の特徴を抽出することを目的としています。
方法および研究で利用する試料・情報について	対象となる患者さんの診療録（カルテ）から次の情報を調査します。 ・背景因子（年齢、性別など）、 ・臨床データ（画像検査結果など） ・臨床情報と画像解析情報など
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。
資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、この研究において開示が可能であると考えられる範囲内で、この研究の計画や方法についての資料をご覧いただくことができます。

研究代表施設・代表者	静岡県立こども病院 脳神経外科 永井 靖識
問合せ先	◆その他、この研究に関するお問い合わせ、苦情等ございましたら下記へご連絡ください。 静岡県立こども病院 脳神経外科 永井 靖識 代表 054-247-6251